2026年度　B日程試験　国語解答（国際学部・子ども学部）

（　）：配点

問一	1	④(2)	2	②(2)	3	③(2)	4	④(2)
問二	5	②(2)	6	④(2)	7	④(2)	8	②(2)
問三	9	②(2)						
問四	10	③(3)						
問五	11	①(2)						
問六	甲	理論の世界のルール(2) 内的に一貫する論理(2)						
問七	12	④(2)						
問八	13	①(3)						
問九	14	②(2)						
問十	15	①(2)						
問十一	16	④(2)						
問十二	17	②(2)	18	①(2)				
問十三	19	③(2)						

問十四	乙	（模範文） 私は高校に在学している現在まで、どの教科の成績も、決して悪くなかった。試験で良い点数を取る要領が何となく掴めていて、こういう問題にはこう回答するとか、選択肢の中でこの辺りが正解になるといった知識や方法で、毎回くぐり抜けてきたように思う。いわば、独自の勝手な「理論」を作っていた。 だが、それはただ単に自分が良い点数を取るためだけのものだったから、他の人にきちんと説明できるようなものではなかった。しかも、それぞれの教科で学んだことを試験以外の何かに活かそうと考えたことも全くなかった。つまり、どこか「現場」の世界に出た時には、ほとんど役に立たないのだ。 これからは、学んだものを技能や教養といえるくらいに高めて、留学や実習に行った先などの新しい世界で、他の人のために使えるようになりたい。これまで身につけたことも、私の成長次第で、どのような力にでも変えることができると思う。（三百八十五字）(6) （評価の観点） ・筆者の述べる、「理論」と違う「現場」の世界があることを意識して対比的に書いている。 ・本学の建学の精神をもとに具体例を挙げながら書いている。

出典：石原武政『「論理的」思考のすすめ　感覚に導かれる論理』　有斐閣　2007年11月

2026年度　B日程試験　英語解答（国際学部・子ども学部）

（　）：配点

A	1	C(2)	2	B(2)	3	C(2)	4	B(2)	5	D(2)

B	6	A(2)	7	A(2)	8	C(2)	9	A(2)

C	10	C(1)	11	D(1)	12	B(1)	13	A(1)	14	B(1)
	15	D(1)	16	A(1)	17	D(1)				

D	18	C(1)	19	B(1)	20	C(1)	21	C(1)	22	A(1)
	23	C(1)								

E	24	A(1)	25	B(1)	26	C(1)	27	B(1)	28	D(1)
	29	D(1)								

F	30	B(1)	31	D(1)	32	G(1)	33	C(1)	34	A(1)
	35	F(1)	※30～35全て正解で1点加点							

G	Why do you think people give to charities? People give to charities for many reasons. Some people enjoy sacrificing their time and money for others. Others do it because of personal, communal or religious values. But I believe the majority give because they want to help others and improve lives.(5)